



県幹部(左手前)に短期留学への抱負を語る大学生たち＝県庁で

中国と日本の懸け橋に

浙江省に短期留学 常葉大生ら抱負

県の友好都市である中国浙江省に短期留学する大学生六人が十七日、県庁を訪れ、西田郁夫文化・観光部長に抱負を語った。

常葉大の四人と静岡理工科大学院生の一人が九月下旬から二週間、常葉大の一人が来年二月下旬から一カ月間、現地の大学に留学する。常葉大三年の竹田萌華さん(三〇)は「中国語と文化に直接触れて、中国と日本の懸け橋になりたい」と意欲を見せた。西田部長は「いろいろな人と触れ

合って学んだことを友人や後輩に伝えてください」と激励した。

県は二〇〇八年度から県内大学と浙江省の

大学と留学生の相互交流事業を実施しており、県からの留学生は今回を含めて計六十六人となる。(本田英寛)